

二〇七四年十一月十五日

今日（こんにち）は、月（つき）に一度（いちど）のフオンタイムが五時間

目（め）にある。シンジヨ一（しんじよ一）は朝（あさ）の打ち合わせ（うちあわせ）で、

職員（しやくしん）に、次（つぎ）のメツゼ一（めつせ一）を送（ま）くった。

「今日（こんにち）は、フオンタイム（fon-time）がありません。子供（こども）が

「登校（とうこう）してきたら、すぐ（すぐ）にフオン忘れ（わす）れがない

か確認（かくにん）して下さい。」

それ（それ）ともう一つ（ひとつ）、録音機能（ろくおんき機能）を使（つか）わないこと

を徹底（ていてき）して下さい。」

学校（がっこう）でのフオンでの通話（つうわ）は禁（きん）じられている。

これは、全国（ぜんこく）の小学校（しょうがっこう）で共（きよう）通（つう）して

である。

で、扇小（せんしょう）では、他（ほか）の学年（がくねん）や担（たん）任（にん）以（い）外（がい）の先（せん）生（せい）と話（わ）

すこと（こと）でコミユニケ一（コミュニケーショ）ン能（のう）力（りき）を伸（の）ばすこ

とが（が）でき（き）るとのね（ね）らい（らい）で、三（さん）年（ねん）前（まへ）に「フオン

タイム（time）をつ（つく）った（た）。月（つき）に一度（いちど）のこ（こ）の時（じ）間（かん）だ

け（け）は、フオン（fon）で通話（つうわ）を（を）し（し）て（て）よ（よ）い（い）。も（も）ち（ち）ろ（ろ）ん（ん）学（がく）

習（じゆ）の（の）一（いつ）つ（つ）な（な）の（の）で（で）、誰（たれ）と（と）何（なに）を（を）目（め）的（てき）に（に）話（わ）す（す）の（の）か（か）を（を）、

事（じ）前（ぜん）に（に）考（こう）え（え）て（て）お（お）く（く）。「フオン通話（つうわ）計（けい）画（かく）書（しょ）」を（を）

先生（せんせい）に（に）見（み）て（て）も（も）ら（ら）い（い）、合（ごう）格（かく）し（し）て（て）か（か）ら（ら）こ（こ）の（の）時（じ）間（かん）を（を）

迎（むか）え（え）る（る）こ（こ）と（と）に（に）な（な）っ（つ）て（て）い（い）る（る）。

本（ほん）日（にち）の（の）フオン（fon）タイム（time）で（で）は（は）、シ（し）ン（しん）ジ（じ）ヨ（よ）一（いつ）の（の）も（も）

て	と		ら	ブ		子	使		と	ノ	少			ミ	学	っ	ほ		そ	て	ん	一	リ	あ		
き	い	チ	だ	ー	チ	が	う	実	に	ー	し	し		ー	校	て	と		れ	い	な	年	レ	る		
て	う	ユ	そ	ム	ユ	持	場	際	し	ト	で			テ	が	か	ん	扇	は	る	チ	生	ー	。運	チ	
い	子	ウ	う	に	ウ	っ	面	に	た	や	も			イ	増	ら	ど	小	鉛	こ	ユ	か	の	動	ユ	
る	が	セ	だ	な	セ	て	も	、	。	鉛	味			ン	え	、	授	では	筆	と	ウ	ら	ア	も	セ	
そ	い	イ	。	っ	い	き	な	鉛		筆	わ			グ	た	業	が	鉛	削	を	セ	毎	ン	得	い	
う	る	さ		た	さ	て	い	筆		の	っ			で	。	パ	ソ	筆	り	話	イ	日	カ	意	さん	
だ	。	ん		の	ん	い	の	を		持	も			確	扇	コ	ン	の	ら	し	さ	歩	ー	で、	は、	
ウ	い	の		は、	の	る	だ	っ		込	ら			認	小	で	行	で	い	出	ん	い	だ	、	五	
ワ	つ	話		あ	話	よ	だ	て		み	お			し	は	わ	わ	。	。	し	が、	登	っ	市	年	
サ	も	によ		る	によ	う	。	く		を、	う			た	は	れ	れ	。	。	。	校	。	内	幸	組	
ワ	学	れば、		出	れば、	だ		る		、	い			紙	こ	。	。	。		。	し	て	。	体	組	の
さ	校	鉛		来	鉛	。		子		今	う			に	の	持	。			。	て	き	。	育	代	表
ん	に、	筆		事	削			は		年	思			書	こ	込	。			。	。	。	。	祭	代	表
は	、	を		が	り			少		も	い			く	と	。	。			。	。	。	。	で	は	。
、	休	持		あ	が			ない		認	か			楽	を	禁	。			。	。	。	。	。	。	。
休	ん	っ		っ	が			いし、		め	ら			し	職	止				。	。	。	。	。	。	。
ん	だ			た				、		る	。			さ	員	す				。	。	。	。	。	。	。
だ				か						こ				を		る				。	。	。	。	。	。	。

チ	誕生		さん	子		で	ウ	出		い	そ		だ	ウ		ウ	た	コ	だ	は	ー	て	紙	り
ユ	日	自	に	が	そ	は	セ	て	鉛	！	の		が	ワ	あ	ワ	。た	ス	。書	、わ	ル	い	に	、
ウ	プ	分	鉛	増	れ	見	イ	く	筆	ー	様		、	サ	る	サ	タ	書	わ	で	る	メ	、	
セ	レ	の	筆	え	か	た	さ	る	が	と	子		使	ワ	日	だ	ー	いた	ざ	送	そ	ツ	オ	
イ	ゼ	削	削	た	ら	こ	ん	の	削	大	を		え	さ	、	た	の	も	わ	れ	う	セ	ン	
さ	ン	り	り	。そ	、	と	も	を	ら	声	偶		る	ん	ウ	た	絵	の	ざ	ば	だ	ー	ラ	
ん	ト	器	器	そ	ク	が	、	初	れ	を	然		よ	は	ウ	と	と	の	紙	。先	。先	ジ	イ	
の	で	を	を	し	ラ	な	ク	め	て	を	見		う	言	ワ	鉛	一	を	に	生	書	書	登	
削	買	持	貸	て	ス	か	ラ	て	見	出	見		に	っ	さ	筆	げ	見	の	も	い	校	校	
り	っ	つ	し	芯	の	た	ス	た	た	し	た		す	て	ん	で	ん	た	に	そ	て	し	し	
器	も	子	も	が	中	。鉛	で	ら	ら	が	友		た	は	き	書	？	こ	メ	れ	そ	の	り	
は	も	も	ら	折	で	筆	鉛	し	し	、	達		た	当	の	く	の	と	ツ	を	の	子	す	
、	ら	増	っ	れた	鉛	削	筆	い	い	扇	が		め	たり	が	の	が	あ	セ	知	の	る	子	
削	っ	え	て	たら	筆	り	削	。実	。実	を	一		鉛	前	好	好	の	る	ー	っ	机	が	子	
る	た	い	いた	らウ	を	が	が	際	く	描	か		筆	の	きな	き	一	が	ジ	っ	の	い	が	
と	子	っ	。ウ	ウ	持	は	は	、チ	よ	く	っ		を	こ	な	な	言	、	を	て	中	入	と	
音	も	いた	ワ	ワ	っ	や	や	ユ	う	よ	こ		削	と	の	だ	だ	ニ	渡	い	に	入	と	
楽	い	った	サ	ワ	て	る	る		に	う	い		っ	な	だ	だ	ヤ	す	の	る	入	れ	、	
が		。ウ	ワ	ワ	く								た	の	と	ン	の	の	さ	。メ	れ			
鳴		。	ワ	ワ	る								。	の	の			さ	ん	メ				

て、全国のいろんな場所にお年寄り向けの牛
井屋を作るのが夢だという。そんな話をし
てくれた。
三人目のマツゴーさんは、わり算をがんば
っているから、フォンで問題を出してほしい
と、いうことだ。
「シンジョーは「12÷4は？」
出し続けた。マツゴーさんはよく勉強してき
たようで、全問正解だった。最後に
「どうして私に電話しようと思ったんですか
と聞いてみた。するとマツゴーさんは少しさ
みしそうに、話し出した。
「お父さんが、宮崎県に行って仕事をしてる
んで、そのお父さんに、算数が難しいって。
それで、お父さんと電話する前には、必ず
勉強するようになったんです。だから、今
日のフォンタイムで、シンジョーさんに問
題を出して、もらおうことが決まったら、が
ばって勉強するかな、と思っ・・「
シンジョーは、いろんな家庭があり、いろ
んな勉強の仕方があることを、改めて思
った。まずいことを聞いたかもしれないと、

